



## 趣旨説明

西垣, 順子

---

**(Citation)**

大学評価学会第16回全国大会 シンポジウム「研究・生活とともにある大学評価 : 研究者の『多様な育ち』を支える大学のあり方を探る」, 公開企画2

**(Issue Date)**

2019-03-02

**(Resource Type)**

conference object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90005671>



## 研究・生活とともにある大学評価 —研究者の『多様な育ち』を 支える大学のあり方を探る—

日時：2019年3月2日（土）13:30～16:30  
場所：神戸大学人間発達環境学研究科棟

### 本シンポジウムをしようと考えた背景①

#### いわゆる「女性研究者支援問題」との関わり

- 2002～2015年頃まで：「当事者」を期待されるが居心地悪い
- 2015年頃：「女性研究者支援室」に行く & 交流
  - “研究支援員”の派遣など
- 有給休暇は育児と介護のためのもの？
  - 家族のみが大事で友人etc.と過ごす時間は大事ではない？
- 家族のケアは尊重。他方で趣味、市民活動、信仰、研究や学問・勉強は尊重されないのか？

すべての大学構成員の生活の問題

## 研究者とは？ …次の3条件を満たす人

- 研究をしている
  - 研究職で生計を立てているかどうかではない
  - 研究機関に所属しているかどうかでもない
- 学会・研究会等に参加して研究交流を行っている
- 研究的な文章を執筆する
  - 発表媒体や頻度はとりあえず不問

司会の独断による定義です

### 本シンポジウムをしようと考えた背景②

#### 学問の継承・発展の場（経路）の捉え方が狭いと実感

- 実際には多様な経路で大学教員になっている
- 大学教員以外の仕事をしながら、研究をしている人もいる



「ロールモデルがない」「壁」との付き合い方が狭い

- 「博士後期課程を有する大学の教員」は、研究者としてのキャリア形成の幅が狭い

「学ぶ権利」と同様に「研究する権利」を  
大学・社会の中でどう保障するか？

- 司会・趣旨説明：西垣順子（大阪市立大学）
- 話題提供1：安里知陽（神戸大学大学院）  
「研究を通じた成人女性の発達」
- 話題提供2  
小池由美子（埼玉県立川口北高校・大東文化大学非常勤講師）  
「アイデンティティの形成と教育学研究  
—女性の自立と人間らしく生きること—」
- 話題提供3：山口真紀（神戸学院大学）  
「『女性研究者支援』の射程  
—分断をうみださない支援は可能か—」
- 指定討論 光本滋（北海道大学）